

マイクログリッドをテーマに会議

JHIFが第7回 東ガス横浜研究所で

日本水素エネルギー産
業会議（JHIF、平田
賢会長）は8月21日、東
京ガス横浜研究所（横浜
市鶴見区）で「第7回会
議」を開催した。「マイ
クログリッド研究の最新
線」をテーマに、同研究
所内のマイクログリッド

に完成しており、これま
での実証運転を通じて研
究所内の契約電力や自家
発電給電力が削減でき、
また、排熱利用やコーシ
エネ負荷率の向上にもつ
ながること、100%
買電と比較した場合、コ
ストとCO2排出量はそ

クログリッド内にバイオ
マス発電設備（9・9キ
ワ）などを増設し、環境
性や1次エネルギー削減
率の年間評価なども行っ
ていく計画だ。
またマイクログリッド
関連として、新エネなど
の分散型電源が大量に導

水素融通や面的利用も追求

実証設備を紹介したほ
か、実証研究の状況など
を講演した。

同研究所には、ガスエ
ンジンコージェネ（25キ
ワ×2、9・9キワ）の
ほか風力発電（6キワ×
2）、太陽光発電（10キ
ワ）などで構成したマイ
クログリッドが06年10月

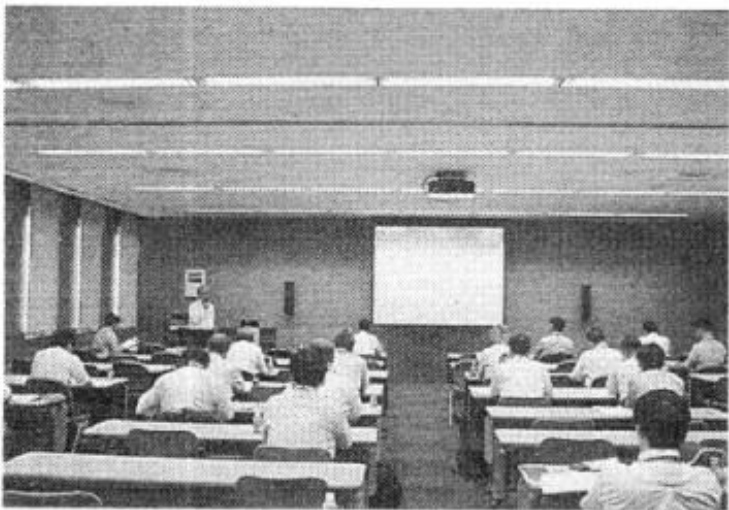
それぞれ3割、1次エネ
ルギー消費量でも約2割
削減できたとした。

「東ガスではマイクログ
リッドをさらに拡大さ
せ、水素の融通やエネル
ギーの面的利用も含めた
「ホロニックエネルギー
システム」の確立を目指
しており、今後は同マイ

入された場合でも、安定
した電力を供給するため
の「品質別電力供給シス
テム」について実証評価
を行っているNTTファ

シリアーズが、同シス
テムの実施概要について
説明した。
同社はガスエンジンや
燃料電池、太陽光発電な

どで構成した計940キ
ワのエネルギーシステム
を東北福祉大学内（仙台
市）に設置し、構内の福
祉施設や浄水場などに安
定した電力を供給する実
証評価を行っている。講
演では、NEDOの受託
事業で詳細は明らかにで
きないとしつつも、排熱
の有効利用やエネルギー
効果などについて、当初
の予定通りの効果が得ら
れていると話した。



マイクログリッドの研究をテーマに開かれた第7回のJHIF会議。東ガス横浜研究所内のマイクログリッド実証設備などを紹介した